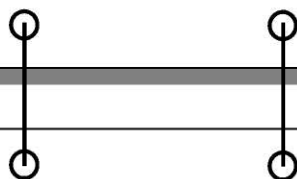


重点 魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす  
戦略 「個性と活力あふれるまちづくり戦略」

－ 京プランに掲げた「基本的な考え方」 －

京都のアイデンティティである歴史や文化の蓄積によって育まれてきた、地域ごとの資源を創造的に活用するとともに、既存の都市インフラを生かした、個性と活力にあふれたまちづくりを進める。

そのために、市内それぞれの地域が培ってきた歴史的建造物や庭園、伝統行事、景観といった個性ある資源を生かして、公民協働による特色と輝きのある地域づくりを行う。同時に、地下鉄沿線の岡崎地域や山ノ内浄水場跡地などといった大きな潜在力を有するエリアを活性化し、既存の公共交通を生かすコンパクトで活力あふれる都市づくりを進める。



－ 京プラン後半期における取組の方向性 －

市内中心地域から山間地域まで、それぞれの貴重な資源やポテンシャルを生かして、人々を引き付け魅了する、個性と活力あふれるまちづくりを一層推進する。

さらに、市民団体等あらゆる主体と連携して、京都で暮らす魅力を発信するなど、京都への移住・定住の総合的な支援を推進することで、国内外から訪れ、学び、住み、交流するひとの流れをつくる。

主な共汗指標

① 転入超過<sup>※1</sup>数

-911人(22年) ⇒ 3,248人(27年) ⇒ 目標 3千人の維持・拡大(32年)

② 地区計画、建築協定及び景観協定の区域面積

765ha(22年度) ⇒ 843ha(26年度) ⇒ 目標 920ha(32年度)

## 重点プロジェクト

### 1 地域の多様な魅力と個性を生かした、京都市への移住・定住の支援

移住希望者を対象に、京都で暮らす魅力の発信、相談への対応、希望に応じた「しごと」、「すまい」とのマッチングや、「子育て支援コンシェルジュ」と連携した子育て支援ニーズへの対応などの支援を総合的に行う「『住むなら京都』移住サポートセンター（仮称）」を開設・運営し、京都ならではの市民力と地域の多様な魅力と個性を生かして、京都市への移住を促進する。

### 2 北部山間地域等の振興

自然・歴史・文化・温かい地域コミュニティなど数多くの魅力を有する北部山間地域において、「京都 京北未来かがやきビジョン」など地域ごとの活性化計画を踏まえ、移住・定住の促進、子育て・教育環境の充実、就業支援、超高速インターネット環境の整備促進などの各種施策・事業にまちづくりを担う様々な主体とともに取り組む。

その他周辺部においても、自然、景観等に十分配慮しながら、人口減少等の地域課題を解決し、活性化を図るため、市街化調整区域における地区計画制度の活用も含め、まちづくり支援を行う。

### 3 「文化の薫り漂う、歩いて楽しい岡崎」の推進

琵琶湖疏水をはじめ、美しい庭園群や文化・交流施設が集積するとともに、ロームシアター京都や動物園、神宮道・岡崎公園がリニューアルし、更に美術館の再整備が予定されるなど、魅力が一層高まる岡崎地域において、エリア内の回遊性の向上、MICE 拠点としての機能強化、更なる集客や夜の賑わいの創出、京都ならではのスマートコミュニティの実現などを図ることにより、「文化の薫り漂う、歩いて楽しい岡崎」の実現を目指す。

### 4 京都市立芸術大学を核とした崇仁地域（京都駅東部）とその周辺地域のまちづくりの推進

崇仁地域において、新たな土地の利活用を図るため、住宅地区改良事業と土地区画整理事業との合併施行を推進する。また、京都市立芸術大学の移転整備を契機に、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学等の多様な主体の参画によるエリアマネジメント\*<sup>2</sup>体制の構築に取り組み、周辺地域を含め、京都の玄関口にふさわしい個性豊かで魅力的なまちづくりを進める。

### 5 JR新駅や中央市場の整備などによる京都駅西部エリアの更なる活性化

京都駅西部エリアの更なる活性化に向け、多様な地域主体と連携してまちづくりを推進するとともに、JR新駅及び駅周辺の歩行空間の整備をはじめとした回遊性の向上や、中央市場整備に伴う「賑わいゾーン」の活用などによる新たな賑わいの創出を図る。

## 6 山科疏水沿いの花の名所づくりと琵琶湖疏水の魅力発信 新規

東山自然緑地（山科疏水沿い）を再整備し、四季の花木を楽しめる散策路として魅力の向上を図るとともに、「琵琶湖疏水通船」の復活等により、長年にわたり、市民生活や産業・文化を支えてきた歴史を持ち、市民の憩いの場として親しまれる琵琶湖疏水の多面的な魅力を発信する。また、将来のユネスコ世界文化遺産登録も見据えて、近代化産業遺産として歴史的に高い価値を有する疏水施設の修復など、一層の魅力向上を図る。

### 戦略を推進する2つの柱

#### 柱1 まちづくりを支える仕組みの充実

- ① 京都のまちづくりの課題に「ひとつごと」ではなく「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働して取り組む「“みんなごと”のまちづくり推進事業（仮称）」の推進 新規
  - ② 都市活力の維持向上に向けた都市機能の配置及び誘導
  - ③ 地域景観づくり協議会制度の普及など地域の特性に応じた住民主体の景観づくりへの支援
  - ④ 京都市景観・まちづくりセンター等との連携による自主的なまちづくり活動の機運醸成とまちづくり相談・専門家派遣等の支援
  - ⑤ まちづくりの基盤となる地籍調査事業<sup>\*3</sup>の推進
- 別掲・再掲事業—
- ⑥ 京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」の充実<P57>
  - ⑦ 総合的な空き家対策の推進<P58>

#### 柱2 地域の個性を生かした、賑わいあふれるまちづくり

- ① 京都駅東南部エリア活性化方針の策定・推進 新規
- ② 伝統産業、伝統文化・伝統芸能、寺社、花街の文化、商店街など、多彩な資源を有する西陣を中心とした地域の活性化 新規
- ③ 四条通の地下通路の活用による都心部の更なる賑わいづくりの推進 新規
- ④ ニュータウン（洛西・向島）の活性化方針の策定・推進

- ⑤ 子育て環境の充実や世代間交流の促進，大原野「地域ブランド」戦略等との相乗効果の発揮など，高架下有効活用による「洛西口～桂 駅間プロジェクト」の推進
- ⑥ 芸大移転を見据えた洛西地域をはじめとする西京区の新たな活性化策の推進
- ⑦ 「らくなん進都」における企業集積の促進や交通利便性の向上，快適な都市環境の実現等を目指した総合的なまちづくりの推進
- ⑧ 護岸改修による高瀬川周辺一帯の魅力あふれる水辺環境の創出
- ⑨ 府市協調による地下鉄北山駅周辺地域の活性化
- ⑩ 山ノ内浄水場跡地活用の円滑な推進

〈用語説明〉

- ※1 転入超過：  
一定期間において転入数が転出数を上回っている状態
- ※2 エリアマネジメント：  
地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるために，住民や事業者等が実施する主体的な取組
- ※3 地籍調査事業：  
一筆ごとの土地の所有者，地番，地目を調査し，境界の位置と面積を測量するもので，境界トラブルの未然防止や土地取引の円滑化，公共工事等のコスト縮減，災害復旧の迅速化などの効果がある。